

24 「ブツダ最後の旅」 とインド哲学

(4コマ)

まるい ひろし
丸井 浩

東京大学大学院人文社会
系研究科 教授
公益財団法人 中村元東
方研究所 常務理事
日本学術会議連携会員



ブツダ(釈迦牟尼世尊)が80歳で入滅する前後の場面や、ブツダの遺誠をまとめた経典は、一般に涅槃経と呼ばれています。南方の仏教諸国(スリランカおよびミャンマー、タイなどの東南アジア諸国)に現在まで伝わるパーリ語仏典では、『マハー・パリニッバーナ・スッタタ』と呼ばれる経がそれであり、中村元博士はその経典に「ブツダ最後の旅」という素敵なタイトルを付けられました。博士の日本語訳が岩波文庫として出版されています。また漢訳された初期仏典の中にも、涅槃経に相当する経典がいくつかあり、なかでも『遊行経』は比較的良好知られています。

昨年、4月～9月の半年間、NHK Eテレ「こころの時代」に、6回にわたって出演する機会を得ました。この講義では、その時に番組でお話し、あるいはガイドブックに書いた内容を踏まえて、『ブツダ最後の旅』という経典の持つ魅力を皆さんにご紹介するとともに、私の専門であるインド哲学の観点から見て、この経典の内容や、ブツダの説法には、どのような特徴があるかを考えてみたいと思います。

この混迷の時代にあつて、さまざまな対立を乗り越えるための数々の知恵を、ブツダの教えから、あるいは仏教的な考え方から、学びとる努力が今、私たちに求められていると思います。また、ブツダの入滅をテーマにしたこの経典を題材にしながら、生と死の問題を、あらためて皆さんと考えてみるつもりです。

なおこの番組の一部は、授業でも映像でご紹介する予定。講義のテキストとしては、番組用に作成したガイドブックをご購入頂けると幸いです。2017年10月～2018年3月に再放送される予定なので、2017年9月には入手可能となるはずです。

[日 時] 2018年3月6日(火) 13:30～15:00, 15:20～16:50, 3月7日(水) 10:30～12:00, 13:30～15:00

[テキスト] 購入が必要

丸井浩『「ブツダ最後の旅」に学ぶ』NHK出版

[受講料] 4,800円